

地震発生、その時身を守る6つのポイント

地震発生時、まずは身の安全を守ることが最優先です。次の6つのポイントに注意して行動しましょう。

①まず、身の安全を確保

揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。座布団などが身近にあれば、頭部を保護しましょう。



②非常脱出口の確保

揺れがおさまったら、玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保しましょう。



③あわてて外に飛び出さない

揺れがおさまるまでは周囲の状況をよく確かめ、あわてて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動しましょう。



④揺れがおさまれば、火の始末

使用中のガス器具、ストーブなどは、火を消しましょう。ガス器具は元栓を締め、電気器具は電源プラグを抜きましょう。



⑤津波に注意

強い地震を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、高台へ避難しましょう。



⑥がけ崩れに注意

山ぎわや急傾斜地では、がけ崩れが起きやすいので、早めに避難しましょう。



文化財

豊茂のスダジイ
愛媛県指定天然記念物
個人所有



肱川下流域左岸の豊茂地区の山神坊集落に所在する本樹は、樹齢約400年、樹高約18.5mで、根元から枝分かれした8本の幹が四方に広がっています。主幹の幹周りは、県内最大となる6mもあります。

地域を代表する巨樹らしく、古くから信仰の対象となっていたようで、古老の話では、かつては地蔵尊や大明神が祀られ、大勢の山伏などがたびたび本樹を訪れていたといえます。実際に現地には、株の中心部に木の成長によって埋没した石の祠があり、かなり以前から信仰されていたことが分かります。

本樹は枝張りが30mを越え、その大迫力の大きさはあたかも一つの森のようであり、巨樹の名にふさわしく見学にもお勧めの一本です。

(昭和27年3月27日指定)

野鳥

ヒバリシギ(雲雀鷗)
チドリ目シギ科
大きさ 14.5cm



田んぼが少し黄金色に色づくころ、シベリア中部やカムチャツカ半島で子育てをして、オーストラリアなどの南半球で越冬する長旅の途中、日本に立ち寄ります。東大洲などの水田は、休憩地として最適のようで毎年出会うことができます。

シギの仲間は、どれもよく似た色合いや体つきですが、特徴はスズメくらいの大きさと、背中からVの字に見える模様です。また、ヒバリのように見えることから、この名前がついたといわれています。

人間と関わることで、生き物たちは、ほそぼそと命をつないでいますが、今後予想される農業政策などで、農地が荒れることなく、生き物たちの命が満たされ続ける事を祈っています。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

カメルーン便り 第一巻

初めまして、梶田真緒です。7月1日、私は生まれ育った愛媛にしばらくの別れを告げ、中央アフリカに位置するカメルーン共和国へとやってきました。毎日が冒険のような、刺激たっぷりの2年間を赤裸々につづつていきます。

この便りを通して、カメルーンについて、そして、青年海外協力隊とは、といったことを伝えることができれば幸いです。

それでは、はじめはじまり〜。

【いざ、カメルーンへ】

アフリカから、暑いだろうなあ。

と思っているみなさん。なんと、今の時期は割と涼しく、朝晩は掛け布団がないと少し寒いくらいです。きっと日本の夏のほうが暑かったと思います。しかし、乾季真っ只中の1月あたりがとて暑いらしいので、それはそれは恐ろしいです。また、カメルーンはとても緑豊かな国で、町中は見渡す限りにプランタン（バナナの種類）、パイヤ、マンゴーなど、いろいろな木が植えられています。隊員が派遣されていない北部州においては、こことはまた違う景色で、赤土の台地が広がるアフリカの景色を堪能できるみたいです。

カメルーンに来て早速、いろいろなことに驚かされています。頭の上に物をのせて運んでいるとこ



丘からの風景：ヤウンデ

ろを見たとき、衝撃を受けました。何でものせるのか〜と。くんできた水などはもちろん、フルーツやパンを入れた籠を頭にのせて上手にバランスをとって売っている姿をよく目にします。落ちないのが不思議でたまりません。

ほかに、ベッドのマットレスを購入したときのことです。どうやって運ぶのかと思いきや、タクシーの上のせて、運転手もふくめ乗客みんな（もちろん私も）で、片手で落ちないように支えて、宿泊施設のドミトリーまで運びました。さすがです。

【何ヶ月か】

派遣されてから、初めの1カ月は、首都ヤウンデでオリエンテーションやフランス語の語学訓練、

ホームステイなどであつという間に過ぎていきました。そして、赴任先のエボロワに移動しました。先輩隊員の温かい受け入れと気づい、そして調整員や所長などJICA職員のみなさんがとても頼もしく、安心して活動ができると感じました。



語学訓練の先生に感謝を込めて劇をした時

やっと活動スタート。と思いきや、現在は全ての学校がバカンス期間で、職場もそれにあわせて6月から9月までおやすみということでした。なので、市場へ行ったり、キリスト教のお祭りに参加したり、地元の人のお宅にお邪魔をして過ごしています。

カメルーンの人は、いつもあいさつだけでなく「元氣」「どこの」といったプラスアルファの声掛けしてくれます。握手付きで。とてもいい文化です。

生活に慣れると、新鮮なものが新鮮でなくなり、驚くことも減ってきてしまうと思います。見たものをありのままに感じ、それをう

まく伝えられるように、常に初心の気持ちをもって楽しくがんばっていきたいです。

【そもそも環境教育ってどんなことをするの？】

カメルーンは、緑の多い資源豊かな国です。しかし、道端や川には、当たり前のようにゴミが捨てられています。ほかに、発展のために貴重な森林資源は破壊されています。身近な環境問題に目を向けている人は、まだまだ少ないのです。

そこで私は、初等教育省に所属し、管轄内にある小学校と幼稚園を巡回し、環境教育の授業をするという活動を主に行う予定です。活動を通して、環境問題に関心をもち、また、自然の中で子どもを育てる、そして、清掃活動などを企画し、環境にやさしい町づくりを目指していきたいと考えています。

ちなみに、フランス語はとても難しいです。しかし、めげずに進みたいと思います。

次号では、1日の生活スタイルと交通事情、食事などにも触れていきたいと思っています。

お楽しみに〜。

新谷藩主加藤家の文化財 第参幕



加藤泰廣の墓所

加藤泰廣（かとうやすひろ）
 加藤泰廣は、宝永7年（1770）、大洲藩3代藩主加藤泰恒の7男として江戸に生まれました。享保9年（1724）、新谷藩3代藩主加藤泰貫の養子になると、享保12年（1727）には泰貫の隠居に伴い家督を相続しました。泰廣は、享保17年（1732）多田儀八郎（朱子学者三宅尚齋に学び、のちに室鳩巢の門下となる）を招き、講義を受けるなど学問に熱心な藩主でした。この儒者の招聘は、同年に本藩大洲藩が、陽明学者川田雄琴を藩士に迎えていることから、新谷藩士への教育を狙ったものと考えられます。宝暦6年（1756）、長男の泰官に家督を譲り隠居すると、宝暦9年（1759）、病気のため新谷へ引き移りました。天明5年（1785）、新谷において76歳で没すると、新谷の大恩寺に葬られました。



加藤泰官の墓所

加藤泰官（かとうやすのぶ）
 加藤泰官は、元文2年（1773）7、4代藩主泰廣の長男として江戸に生まれました。宝暦6年（1756）、父泰廣の隠居に伴い、20歳で家督を相続し、翌年初めて新谷に入りました。藩主在任期間中は、朝鮮通信使が来日した宝暦13年（1763）に淀から京都、遠江国新居までの鞍皆具（鞍・鐙・轡・手綱・腹帯など装具一式）二頭分の差し出しを命じられたほか、明和5年（1768）には駿府加番を命じられました。また、江戸城の幸橋・日比谷口・呉服橋御門の諸門番を5回勤めました。泰官は、祖父泰恒や伯父文麗の画才をうけて絵が巧みであったと伝えられています。明和8年（1771）、病のため新谷において35歳で没すると、新谷の大恩寺に葬られました。

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

大洲はクリの産地で、愛媛県内第1位の生産量を誇ります。地形を生かした栽培と自然状況が適しているそうです。

品種は、利平、倉方甘栗、筑波、石鎚、銀寄、大洲早生など、多くの品種が取れます。クリの評価も高く、中部地方の一部や、関西圏で積極的に使用されています。もっと大洲のクリを知っていただきたいという事で、大洲産のクリを使った商品開発を行い、認知度向上するためのブランド戦略事業も行っています。

今後の大洲産のクリに注目したいところです。

【今月のクイズ】

大洲産のクリのブランド戦略事業名は、何と言うでしょうか。

- ① ビッ栗！プロジェクト
- ② 大洲まるごと栗イズム
- ③ 大洲地栗倶楽部



【先月号のクイズの解答・解説】

大洲市のいもたきの特徴として、〇〇だしが特徴ですが、〇〇とはなんでしょう？

- ① 牛肉
- ② 昆布
- ③ とり肉

解答…③

解説…大洲のいもたきは、とり肉でだしをとります。昆布でだしをとるのは、島根県津和野町。牛肉でだしをとるのは、山形県中山町です。

この3つのいもたきは「日本三大芋煮」と呼ばれ、三大いもたきサミットが大洲市で行われました。

各地のいもたきの食べ比べをした人は、味はいかがでしたか。



※今月のクイズの答えは、広報大洲11月号に掲載します。

国土交通省大洲河川国道事務所・山鳥坂ダム工事事務所だより

全国道路・街路交通情勢調査を行います

国土交通省では、都道府県、政令指定都市、高速道路会社などと連携して、9月から11月までの間、全国で自動車の使われ方などを調べる全国道路・街路交通情勢調査を実施いたします。この調査のうち、自動車起終点調査については、無作為に選定させていただいた自動車保有する人・事業者に対して、利用実態をお答えいただく調査です。

調査結果は、道路の計画や管理などについての基礎となる重要な資料となるものです。調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

サポートセンター

☎0120(946)211

※午前9時～午後6時
(日曜、祝日を除く)

鹿野川ダム改造事業の迫力を体感してみませんか

鹿野川ダムでは、肱川を流れる水をきれいにするとともに、大雨が降った時には、今よりもたくさん水を貯めて下流の浸水被害を減らすため、現在改造事業を行っています。このような事業は、世界でもほとんど例がない大規模なもので、直径11・5mの水吐トンネル（上流から流れてきた洪水の量を絞って下流に流すためのトンネル）は圧巻です。

山鳥坂ダム工事事務所では、鹿野川ダムの見学会を随時開催していますので、ぜひ一度その迫力を体感しにお越しください。

なお、見学いただいた人には、

限定のオリジナルダム改造事業カードをプレゼントしています。

【見学時間】

平日 午前8時30分～午後5時

【所要時間】 1時間～1時間30分

【問い合わせ先】

鹿野川ダム管理庁舎

☎342350

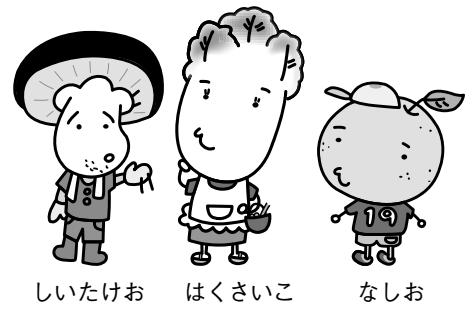


〈小松菜のノリあえ〉



(材料2人分)

小松菜	120g
えのき	40g
ニンジン	20g
モヤシ	20g
ノリの佃煮	10g
みりん	小さじ1強
刻みノリ	少々



ーノリのアミノ酸は「日本の味」ー

ノリには、日本の伝統的なうま味成分であるグルタミン酸・イノシン酸・グアニル酸が含まれています。これらの成分を全て含んでいる天然食品は、ノリ以外に無いといわれています。

ノリは、海と太陽の恵みが生んだ「日本の味」です。だから、ご飯にノリを巻いただけでもおいしいのです。

作り方

- ① 小松菜は、ゆでて2～3cmの長さに切る。
- ② えのきも2～3cmの長さに、ニンジンも2～3cmの長さの千切り、もやしは食べやすい長さに切る。
- ③ えのき、ニンジン、もやしをゆでる。
- ④ ノリの佃煮とみりんを合わせて、①③をあえる。
- ⑤ 器に盛りつけ、刻みノリを飾る。

【レシピ提供：大洲市保健センター】



8月22日(土)

新鮮獲れたての魚をどうぞ ～長浜漁師あらせ市～

長浜港に水揚げされた、新鮮な魚や貝などを直売する「長浜漁師あらせ市」が開催されました。

漁師あらせ市は、長浜町漁協が「大洲市がんばるひと応援事業」の助成を受けて7月から始めたもので、これからも、毎月第3土曜日に開催します。

市内で唯一海に面している長浜地区の、新しい名所となるよう期待が膨らみます。



8月13日(木)

こだまする太鼓の音に誘われて ～山鳥坂の鎮縄神楽しめがぐら～

毎年の恒例行事として帰省客も多く訪れる「山鳥坂の夜神楽」が、岩谷小学校跡で行われました。

かがり火に照らされる勇壮な舞は神秘的で、来場した多くの人たちは、幻想的な世界へ引き込まれていました。

全長50mの大蛇の登場には歓声が上がリ、各種祈願にも行列ができるなど、会場は大いに盛り上がりました。



8月28日(金)

秋の風を感じながら ～いもたき初煮会～

およそ300年の歴史があり、大洲の秋の風物詩である「いもたき」シーズンの訪れを告げる初煮会にょが、如法寺河原ほうじで開催されました。

会場では、大鍋で作られた「いもたき」1,000人分が無料で振る舞われました。会場を訪れた家族連れなど多くの方は、涼しい川風を感じながら「いもたき」に舌鼓を打っていました。



8月14日(金)

ふるさとの夏の思い出 ～かわべふるさと祭り～

お盆の恒例行事である「かわべふるさと祭り」が、ふるさと公園で開催されました。

午前中は雨の心配をしましたが、無事にカラオケ大会や扇子踊り、歌謡ショーなどの催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

最後には、約900発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を華やかに彩りました。



本市では、災害が発生した場合に備えて、災害対策本部を設置し、全庁での災害対応を行える体制を整備するとともに、事前にできる限りの食糧や物資を計画的に備蓄しています。

しかし、市内全域が被災するなど大規模な災害が発生した場合は、災害対応を行うマンパワーや備蓄している食糧・物資などにも限界があるため、あらかじめ自治体間や民間企業と協定を締結し、迅速かつ円滑に被災者への支援を行うことにしています。

今年度は、6月1日(月)、NPO

災害時における支援・協力の協定締結



法人コメリ災害支援センターと物資供給（作業用品・日用品・水・電気用品など）の支援に関する協定を締結。7月22日(水)、株式会社ゼンリンと災害時に活用する地図製品などの供給や利用に関する協定を締結。8月12日(水)には、市内19郵便局と避難所への郵便物配布、車両提供や道路などの損傷状況の情報提供といった業務支援に関する協定を締結しました。

今後も、災害時の支援や復旧体制の強化を目指し、民間企業や自治体間での相互支援協定の締結などを進めてまいります。

今年もええモンが決まりました ～大洲ええモンセレクション認定書交付式・認定品発表会～

平成27年度「大洲ええモンセレクション」の認定書交付式・認定品発表会が8月7日(金)、料苑たる井で開催されました。

「大洲ええモンセレクション」の認定も4回目を迎え、今回は、新規認定4事業者10品目、更新6事業者10品目が認定品として選ばれました。

式典で清水市長は「厳しい審査を通過した認定品を全国に通用するものにしたい。今後もみなさんとともに大洲市の良いものを全国にPRしていきたい」とあいさつしました。その後、認定書を事業所の代表者一人ひとりに手渡しました。

認定事業者を代表して有限会社ヒロファミリーーズの奥田廣司さんは「今回の認定に自信と誇り、責任を持ち、地方創生の一翼を担いたい。自分たちの地道な活動が結果として大洲のためになると信じている」と述べられました。

交付式終了後、認定品のお披露目が行われ、参加者が各ブースを回りながら試食などをしました。

今回の認定により、大洲ええモンセレクションの総認定品数は16事業者39品目になりました。これからも、大洲ブランド創出事業の一環として、流通拡大や地域産業の活性化を図っていきます。



プロ選手の指導を受けて

生涯スポーツの普及・振興を推進するとともに、えひめ国体・えひめ大会の周知を図るため、8月7日(金)、大洲市総合体育館でバレーボール教室が開催されました。この教室には、元全日本代表で03年ワールドカップMVPにも輝いた山本隆弘^{たかひろ}さんと、国内バレーボールリーグの最高峰であるプレミアリーグで活躍するパナソニックパナサーズの現役3選手が指導者として参加しました。

バレーボール教室開催前には、指導者4人と関係者6人が市役所を訪れ、企業スポーツによる地域貢献について意見交換を行い、市



長に記念のサインボールがプレゼントされました。

夕方から開催されたバレーボール教室には、市内の小中学生や高校生、一般から72人が参加し、ストレッチやチームワークを高めるためのゲーム、基本動作で体を動かした後、小中学生と高校・一般に分かれてレシーブやアタックの実践練習を行いました。

練習終了後には、質疑応答や記念撮影、サイン会も行われました。参加したみなさんは、プロ選手から直接指導を受けることで、普段の練習の時とは一味違った手応えを感じていました。



全日本美容技術選手権大会（花嫁着付部門）に出場

8月3日(月)、松山市総合コミュニティセンターで開催された「第51回愛媛県美容技術選手権大会」において、上野知子^{ともこ}さん（若宮）が花嫁着付競技部門で見事優勝し、全国大会への出場を決めました。

10月に札幌市で行われる全国大会に向けて「5年前の中振り袖着付部門に続き2度目の全国大会出場になるので、前回より落ち着いて大会に臨み、優勝目指して頑張りたい」と抱負を述べられました。



全国大会出場を報告

8月6日(木)、八幡浜アスリートクラブ所属の大原翔^{しょう}さん（新谷小）が、愛媛県総合運動公園陸上競技場で行われた第31回全国小学生陸上競技交流大会最終選考会で、100mと4×100mリレー競技で優勝し、全国大会の出場報告のため市役所を訪れました。

県選考会では2種目で優勝しましたが、全国大会では競技規定により1種目しか出場できないため、4×100mリレー競技に出場します。大原さんは「4人で力を合わせて優勝できるように頑張りたい」と抱負を語りました。



カテゴリー別受賞結果

カテゴリー①	チーム名
大賞	羅り摺れ櫓連 (大洲)
準大賞	神舞-KAMUI- (大洲)
銅賞	浜っ鼓★弾★DAN (新居浜)

カテゴリー②	チーム名
金賞	跳星~HOP☆STAR~ (内子)
高知よさこい祭り 振興会会長賞	
銀賞	チーム響 (西予)
銅賞	疾風迅雷 (大洲)

カテゴリー③	チーム名
金賞	喜多っ子パワーズ2015喜鷹組 (大洲)
銀賞	GREATEST★ENERGY (西条)
銅賞	熱血!!北中YOSAKOI部 (大洲)
大洲市長賞	パワーぜんかい 平組! (大洲)
大洲商工会議所 会頭賞	喜多っ子パワーズ2015喜龍組 (大洲)
大洲市観光協会 会長賞	元気いっぱい華咲け南中 (大洲)
大洲商店街連合会 会長賞	喜多っ子パワーズ2015喜猿組 (大洲)
大洲市教育委員会 教育長賞	ジョイフルダンス (大洲)

えひめYOSAKOI祭り2015(今年も咲け 大輪の華!)が、8月23日(日)、肱川緑地公園をメイン会場として開催されました。

この日は、強い日差しが照りつける暑い日でしたが、県内外から初出場1チームを含む31チームおよそ1100人の踊り子が参加しました。

沿道には、華麗な踊りを一目見ようと多くの観客が詰めかけ、カメラやビデオカメラで撮影している人もいました。

各カテゴリーの受賞結果は、左記のとおりです。



おおずの熱い夏 YOSAKOIの夏

新たな研究のために

8月18日(火)、愛媛小林製薬株式会社から長浜高等学校にクラゲ用水槽が贈られました。

この水槽は、縦横60cm・厚さ20cmの容器の中に直径60cmの円形の水槽がある、クラゲ飼育専用の特注品です。

水槽を受け取った長浜高校を代表してチーム・ニモの重松夏帆さんと山本美歩さんは「特別な設備を必要とするクラゲの研究ができる。これまでの研究を生かし、新たな発見ができるよう頑張りたい」とお礼と抱負を述べました。

愛媛小林製薬松村社長からは「次の世界大会では、ぜひ1等賞を目指して頑張してほしい」とエールも送られました。



災害時、生き残ることをまず考えて

9月1日(火)、「おおずシェイクアウト訓練」が実施されました。この訓練は、いつ発生するか分からない地震に対応するために、「その時いる場所」でどう対処し、どう行動するかを一斉に実施する訓練です。

市内106カ所で12,637人が参加し、この訓練に併せて小学校や自主防災組織では、避難所開設訓練や炊き出し、地震・津波からの避難訓練なども実施されました。

近い将来発生するといわれている南海トラフ地震などの災害時に自分の身を守るために、これからも防災訓練に積極的な参加をお願いします。

